

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
TEL (3404) 7661
E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com
友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

大幅負担増、保険証とり上げ、差別医療……
後期高齢者医療制度の撤回を



安心して医療を受けられる日本にかえましょう

「後期高齢者医療制度」が2008年4月に実施されます。75歳以上の高齢者全員から、年間保険料全国平均7万5000円が死ぬまで年金から天引きされます。介護保険料とあわせると月額1万円になり、1割の窓口負担とあわせて、大幅な負担増になります。

保険証を奪われ：

この「後期高齢者医療制度」が導入される際、病院に担ぎ込まれた時は「手遅れ」という事態が広がってしまいがちです。高齢者が急増することや、保険料が滞り続けると、保険料滞りが続くと、保険証が取り上げられ「資格証明書」が発行されます。

高齢者医療に差別
70歳〜74歳の窓口
支払いは2倍〜3倍

「資格証明書」になれば、受診時にいったん「医療費全額窓口払い」となるので、病院から足が遠のいてしま...

「高齢になるほど病気になる率が高くなるので、高齢者向けの医療制度を特別に作るのだ」というのが、

合点いかない

代々木健康友の会副会長 岩永静知



「高齢になるほど病気になる率が高くなるので、高齢者向けの医療制度を特別に作るのだ」というのが、

「無駄な公共事業や米軍再編強化に使う予算を社会保障に使ってほしい」と、格差社会をなくし、まじめに働くものが報われる日本にしてほしい。これが、

「後期高齢者医療制度」を撤回する。これは後期高齢者だけの問題ではありません。今こそ年代を超えた社会的連帯で、この悪しき計画を中止・撤回させましょう。

命大切にされる政治に

谷川智行



代々木病院などで地域医療にとりこんできた谷川智行医師。いま「命が大切にされる政治」をめざし、日本共産党参院比例予定候補として奮闘しています。谷川医師の思いを聞きました。

医療や介護が受けられず、手遅れで亡くなってしまおう方も後を絶ちません。ぜんそくの子どもたちからも国民健康保険証の取り上げが行われています。

アップ

2030年までに後期高齢者が2100万人と増えていくこと

ねらいは国庫負担を減らす

医療構造改革の最大のねらいは、2025

医療費が増えていること、公費負担が変

わらないと保険料が引き上げられることにな

ります。

さらに低所得で病気が多い後期高齢者だけを集め、他の医療保険から切り離すことで、

今後、医療費が上がれば、保険料値上げが医療水準（診療報酬）の引き下げかの選択を高齢者自身に迫るむごい制度です。中止・撤回すべきです。

税金の使い方を変えれば医療や介護・福祉の充実は可能

「無駄な公共事業や米軍再編強化に使う予算を社会保障に使ってほしい」と、格差社会をなくし、まじめに働くものが報われる日本にしてほしい。これが、

手術台

かけると思いがけない所、「私、代々木出身です」と名乗られることが多い。この間も「穂波の里（新潟市にある大きな特別養護老人ホーム）の主催する「穂波大学」にいったら颯爽とした女性が名刺を出した。施設長の平山正子です。代々木看護学校の4期生です」と名乗られてびっくりしてしまつた。肥後先生、青柳先生などの名前を挙げて懐かしがっていた。『「穂波の里」は用地買入れのため「一坪」運動を巻き起こし、施設づくりと同時に地域づくりに成功し注目を浴びている。ほかにも「若い頃一時、代々木で働きました」という医師もいた。私が入職する前のハナシである。こんな例は民医連関係以外でも多いのである。研修に来たひと、心ならずも去っていった人：色々である。代々木病院にずっといると、毎日慌しく、展望がない気がしてくるが、代々木と縁のあった人が全国で大樹になっているのを見ると励まされる。そして昔の代々木の先輩たちは頑張っていたのだなーと思う。（な）